

船舶事故調査報告書

平成30年1月24日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	転覆
発生日時	平成29年7月22日 05時30分ごろ
発生場所	富山県入善町入善漁港北東方沖 入善港東防波堤灯台から真方位050° 1.4海里付近 (概位 北緯36°56.4′ 東経137°26.9′)
事故の概要	プレジャーボート ^{なかしん} 中信丸は、船外機を後進にかけた際、転覆した。
事故調査の経過	平成29年8月2日、主管調査官（神戸事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	プレジャーボート 中信丸、長さ2.81m なし、個人所有 第220-24591号（船舶検査済票の番号）
乗組員等に関する情報	船長、二級小型
負傷者	なし
損傷	船外機に濡損等
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 南南西、風力 2、視界 良好 海象：波高 約0.5m
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、入善漁港北東方沖において、船首を北東方に向けて釣りを行い、船尾から風浪を受けて北東方に圧流されながら漂泊していた。 本船は、船長が、船首方約20mに定置網のブイを認めたので、船外機を始動して後進にかけた際、海水が船尾部から船内に流入し、船尾部が沈み込んだ後、転覆した。 船長は救命胴衣を着用していた。 本船の乾舷は、船尾約0.3mであった。
分析	本船は、入善漁港北東方沖において、船尾から風浪を受けている状況下、船外機を後進にかけた際、波高約0.5mの波が乾舷の低い船尾部から船内に流入したことから、転覆したものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、入善漁港北東方沖において、船尾から風浪を受けている状況下、船外機を後進にかけた際、波高約0.5mの波が乾舷の低い船尾部から船内に流入したため、転覆したものと考えられる。
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・乾舷の低い小型船舶は、風浪の状況に注意を払うこと。